

令和6年度

熊本県小学校国語教育研究会国語部会

研究理論提案

令和6年5月11日（土）

今を生きる子どもたちが成人して社会で
活躍する頃・・・



社会構造の変化によって直面する課題

『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』

中央教育審議会

目の前の解決すべき課題を見いだし、

主体的に考え、

多様な立場の者が協働的に議論し、

納得解を生み出すこと

正に新学習指導要領で育成を目指す

資質・能力が一層強く求められている

次代を切り拓く子どもたちに求められる 資質・能力

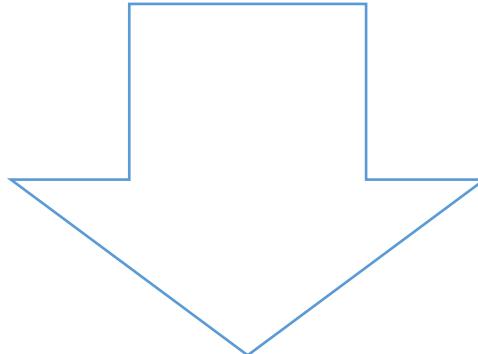
- 文章の意味を正確に理解する読解力
- 教科固有の見方・考え方を働かせて
自分の頭で考えて表現する力
- 対話や協働を通じて知識やアイディアを共有
し新しい解や納得解を生み出す力

1 これからの社会に求められる力 これらの資質・能力を育む手立て

○個別最適な学び

○協働的な学び

充実を図る



見方・考え方を
働くさせる

主体的・対話的で深い学びの実現

2 求められる国語科の力

「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」

学びに向かう力
人間性等

言葉による見方・考え方

知識及び技能

思考力・表現力・判断力等

「言葉による見方・考え方」を働かせる授業

子供が既存知識・経験を交流しながら学習に生かす



国語科における学び

- 言葉の意味を吟味し、解釈を広げ・深める
- 言葉を活用する力を高める
- 新たな語彙の獲得
- 言葉の意味を捉えなおす

子供が学びを自覚し、問いをもちながら主体的に学ぶ



「言葉による見方・考え方」が働き、個々が有する「見方・考え方」が更新される

生きて働く言葉の力 未来を生きる子どもに必要な力

未来を拓く言葉の力を培う

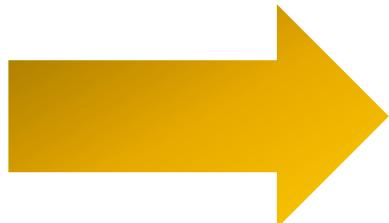
国語科學習の創造

～学びを自覚し、共に更新し続ける子供の育成～

3 研究の視点

視点 1 【学びを自覚するための手立て】

視点 2 【共に更新するための工夫】



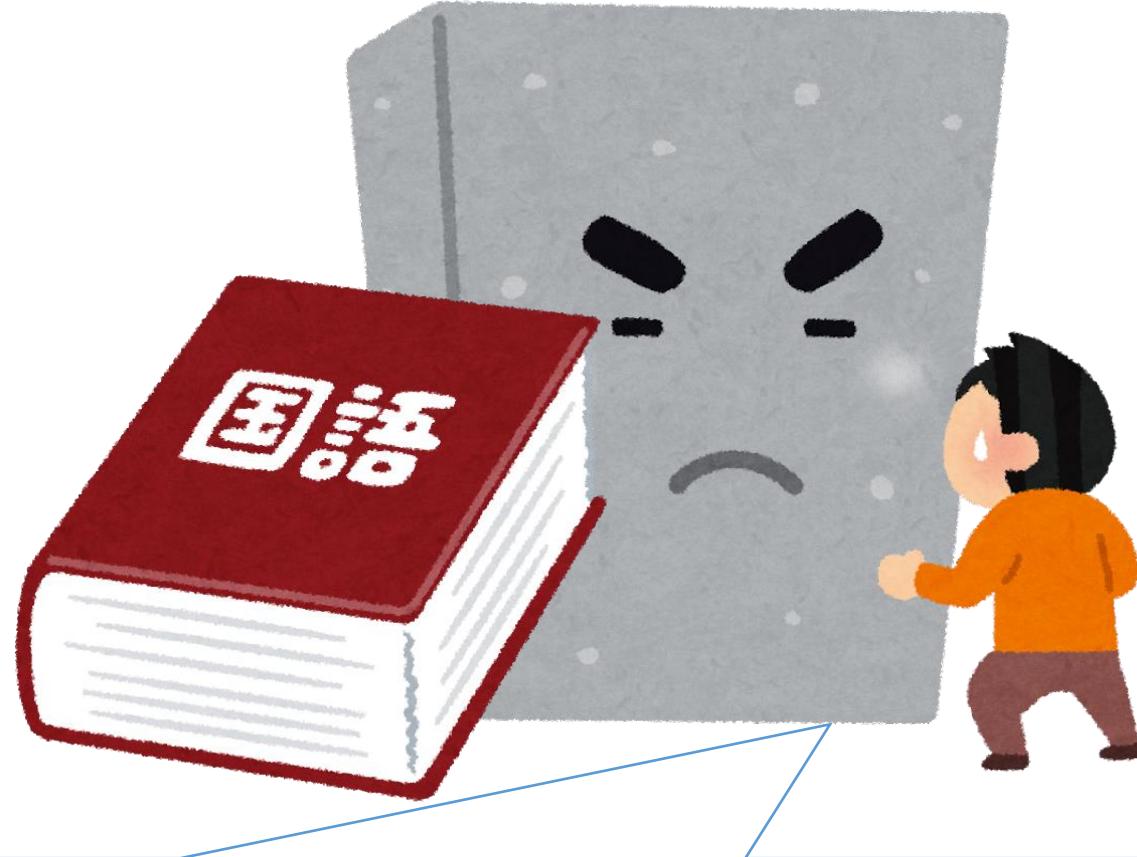
言葉による見方・考え方が働く
主体的・対話的で深い学び

視点 1 【学びを自覚するための手立て】

- (1) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」
- (2) 単元を通じて
自己の変容を自覚する『振り返り』

視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(Ⅰ) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」



学びの始めから、これまでの学びとつながらず…

視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(Ⅰ) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」

単元

新しい



学びの土台

本单元に必要な
語彙などの既存の知識

既習単元における
指導事項

視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(I) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」

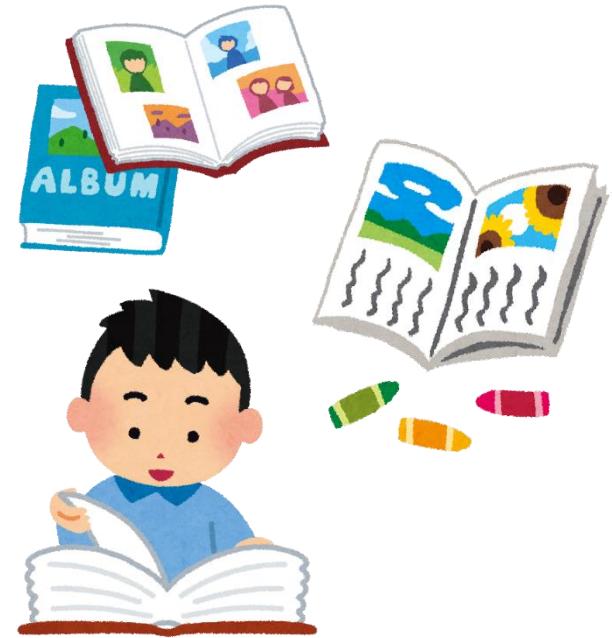


ごんや大造じいさんつて、あなたたちから見てどんな人物でしたか。



絵本の読み聞かせ

既習の教材を活用して問い合わせる



学習の記録の振り返り

視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(I) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」

学ぶ価値や見通しをもつための学びの指針

学習課題

「言葉の力」：本单元における指導事項を单元に
合わせて焦点化したもの

「言語活動」：学習課題を達成するための言語活動

視点1 【学びを自覚するための手立て】

(Ⅰ) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」

学習課題

「町の幸福論」の視点を活かし、資料を活用して自分の考えが伝わるように表現を工夫して、秋津の幸福な未来について町に提言しよう

本単元で身につけさせたい言葉の力

資料を活用する意図を明確にして、自分の考えが伝わるように表現をくふうする力

本単元における指導事項を単元に合わせて焦点化したもの

言語活動

秋津の幸福な未来について考え、町づくりセンター職員の方に提言する。

6年国語 東京書籍
「町の幸福論」
コミュニティデザインを考える

学習課題を達成するための言語活動

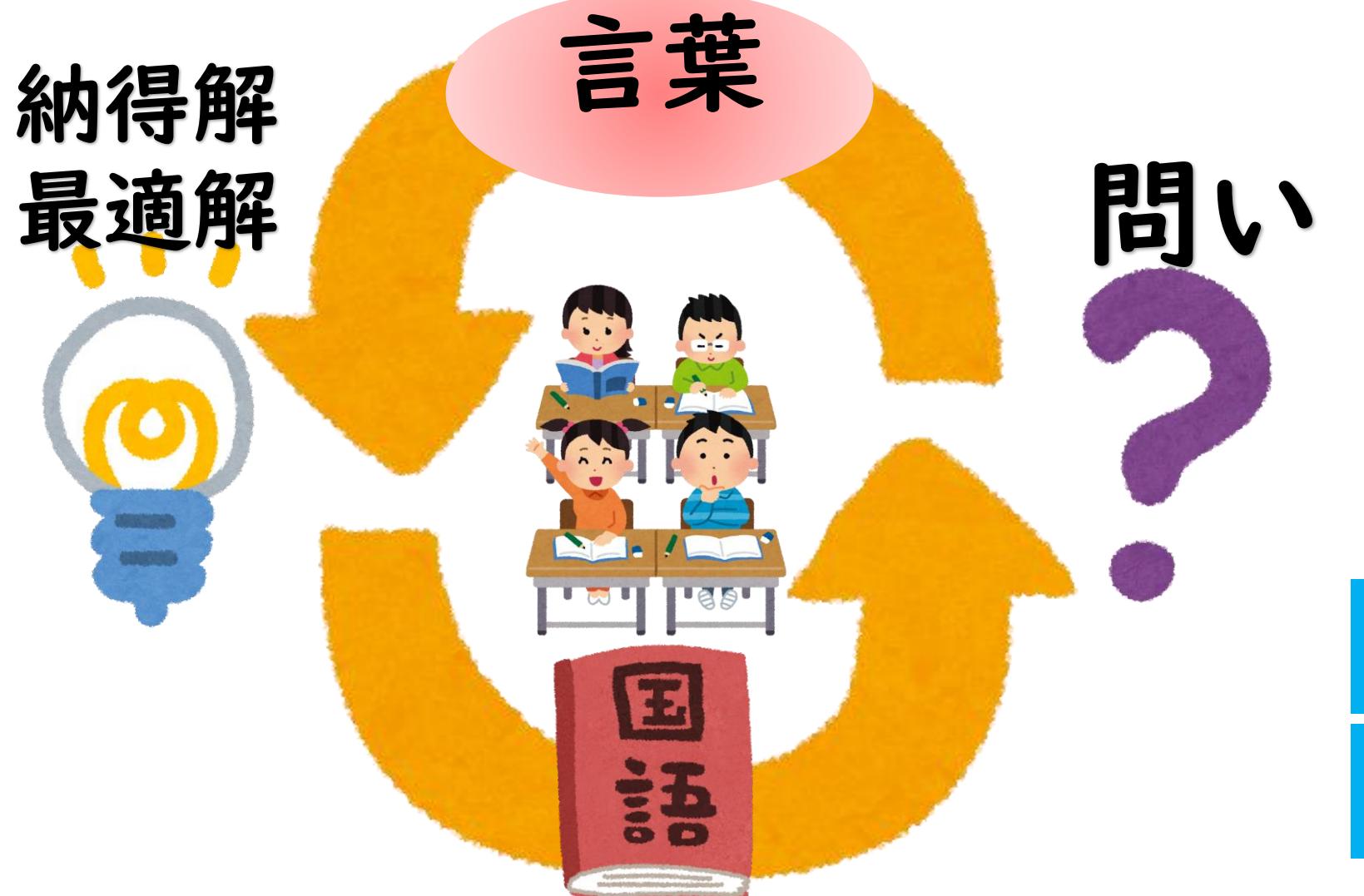
視点1 【学びを自覚するための手立て】

(Ⅰ) 学びに向かう「土台づくり」と「学習課題」



視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』



学びの自覚
振り返り

視点1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫
学習課題の達成を見据えて、
今の自分の~~進化~~の

資料を効果的に使って食品ロスを減らすプレゼンをするためには、〇〇〇のところをもっと工夫する必要があるかも。

言葉

字ひの土台

学びの自覚 振り返り



言葉

学んだ後の自分



視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫
仲間と対話した過程

学びの自覚 振り返り



習課題

○○さんの考え方から、私は
△△ということに気づいた。



学びの土台



言葉



学んだ後の自分

視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫
課題の解決方法

人物同士の関係を図でまとめると○○ということが分かった。

学びの土台

学びの自覚
振り返り



言葉

学んだ後の自分



視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫
更に考えたい・新たな問い

○○についてもっと考え
たい。△△についても気
になったので、次の時間
に友達と考えたい。



学びの土台



視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫

単元冒頭の自分と学習後の自分の変容

学びの自覚 振り返り



学習課題 (言語活動+指導事項)

学ぶ前の自分
言葉



最初、自分は○○○と考えていた
けれど、学習課題を達成した今は
～～と考えるようになった。

学びの土台

対話

言葉

学んだ後の自分



視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫

学習課題 表現の工夫に着目して
物語を読み深め、6－1 オリジナル朗読会を開く



視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

返る視点の焦点化の工夫

深まりました。「高月さんに、もう追いつかないような気がした」の表現の工夫の意味が分からなかつたので、また考えてみたいです。

さなぎたちの教室や「目の中を、いっぱいのちようが飛んでいた」という最初、疑問に思つていたことを調べてみて、物語の内容や意図がさらに理解できたような気がしました。自分が分かつたけど、友達は分からなかつたことを教えたり、自分の意見と友達の意見を見比べて、自分の意見とは違うことを書いたりしていて、自分の考えが深まりました。「高月さんに、もう追いつかないような気がした」の表現の工夫の意味が分からなかつたので、また考えてみたいです。

- わかつたこと
- さらに学びたいこと

視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫

を共有したりして考えを深めることができました。自分は、「さなぎたちの教室」の意味は、谷さんの心の変化をさなぎで表していると考えたけど、ちゃんと見ると、「子供から大人になる準備をする6年生をさなぎに例えている」と考えていて、参考になりました。

○友達の考え方からの気づき

視点 1 【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

ア) 振り返る視点の焦点化の工夫

(单元終末に)

最初の考え方と今の△
分を比べてみて



低・中・高 発達段階に応じた工夫

視点Ⅰ【学びを自覚するための手立て】

(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

イ) 振り返る時、場、共有の工夫



もうそろそろ、今日の授業は終わりです。じゃあ、振り返ろう！

授業の終末だけが振り返りの時や場ではない

視点Ⅰ【学びを自覚するための手立て】

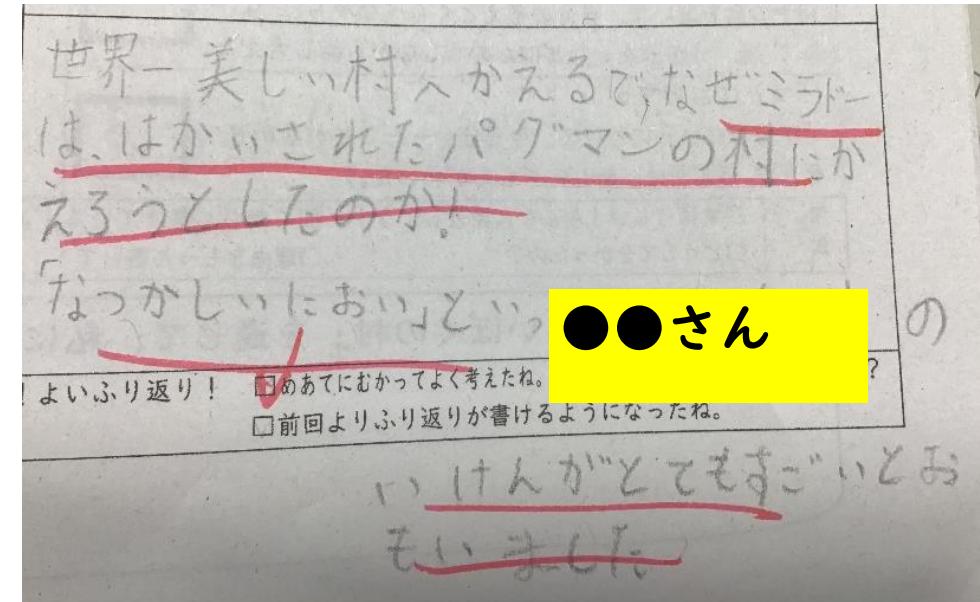
(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

イ) 振り返る時、場、共有の工夫

授業の冒頭・展開

昨日と今日の
勉強がここで
つながってるな！

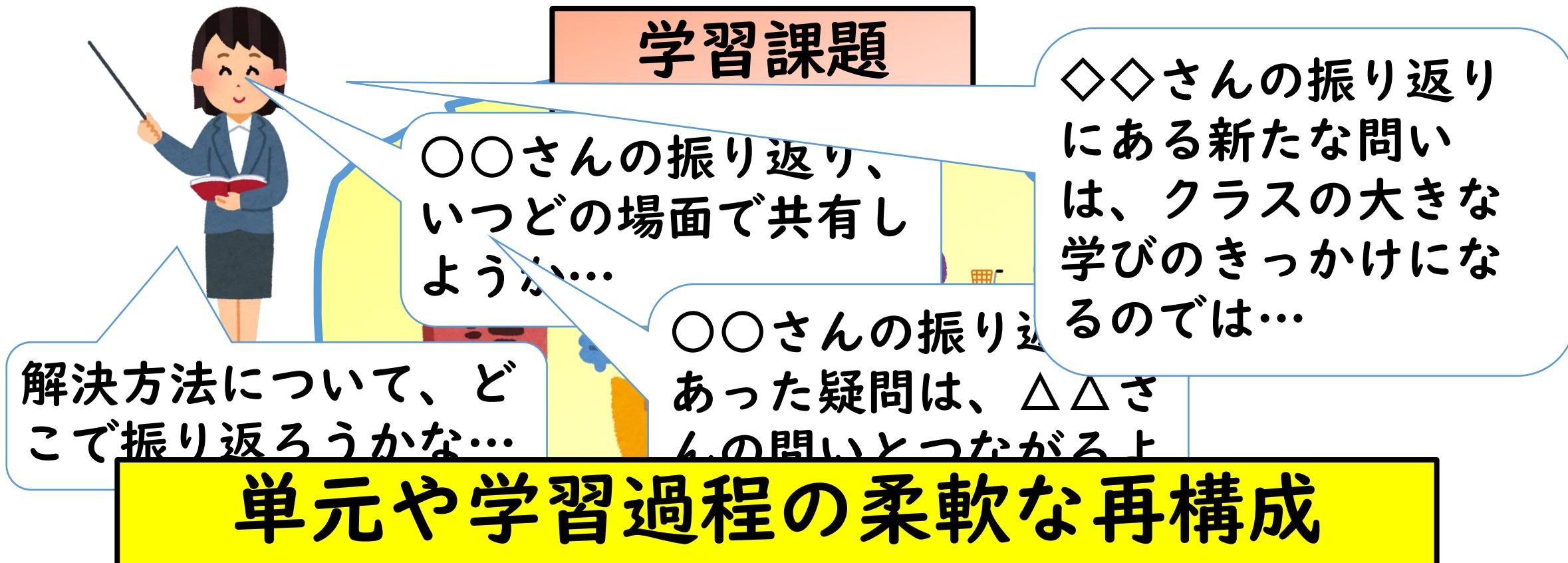
自分の問い合わせ
の解決に活
かせる！



視点Ⅰ【学びを自覚するための手立て】

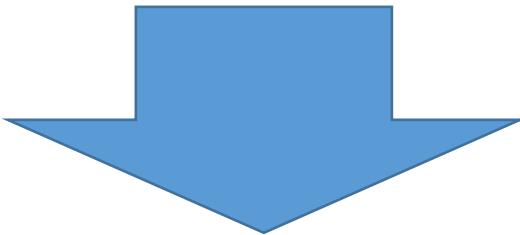
(2) 単元を通じて自己の変容を自覚する『振り返り』

イ) 振り返る時、場、共有の工夫



視点2 【共に更新するための工夫】

子どもが見方・考え方を働きながら相互に作用することで、自らの見方・考え方を更新していく深い学びが生まれる

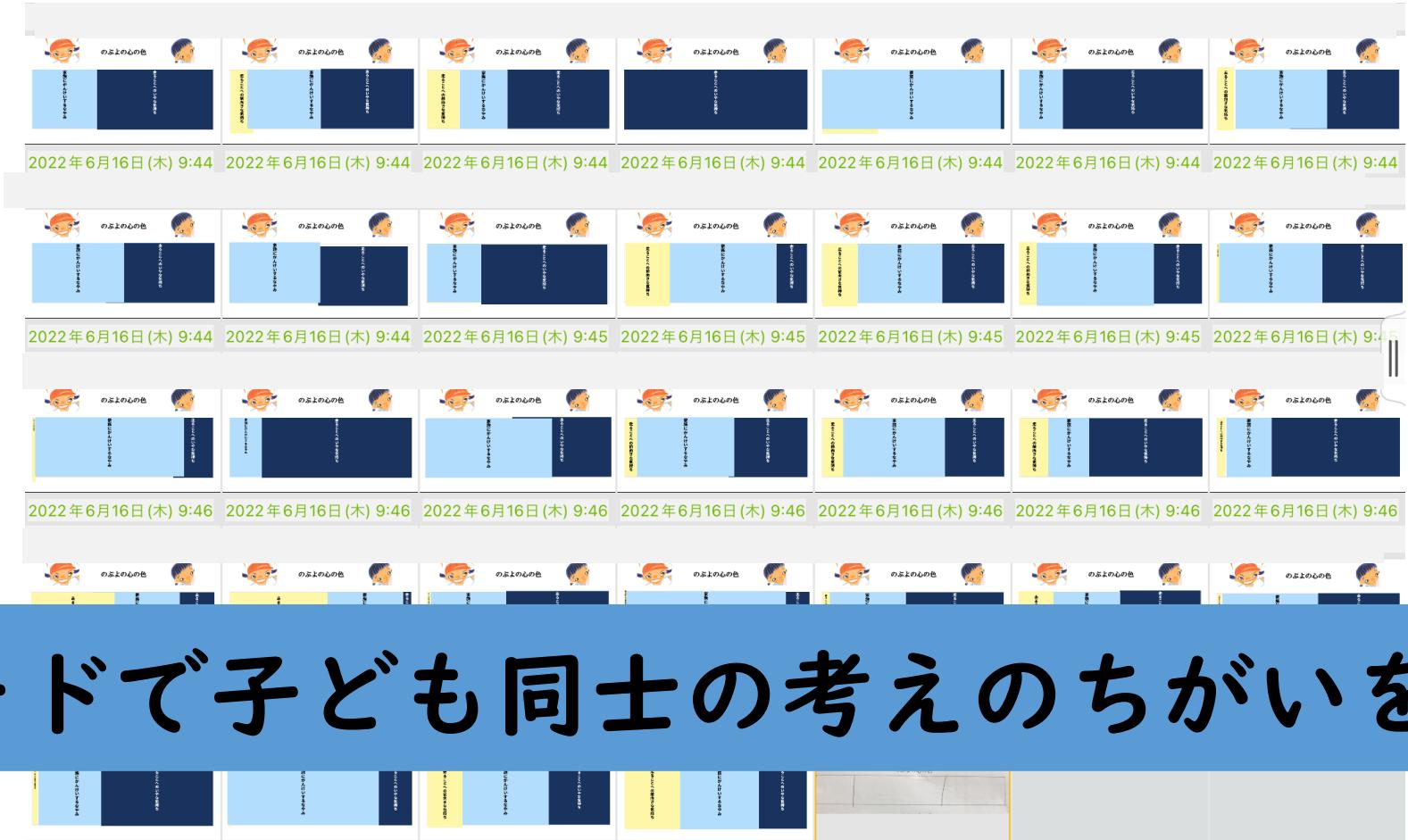


- (1) 考えを表出し、比較する場
- (2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実

視点2 【共に更新するための工夫】

(1) 考えを表出し、比較する場

例えば… 「走れ」 東京書籍 4年上

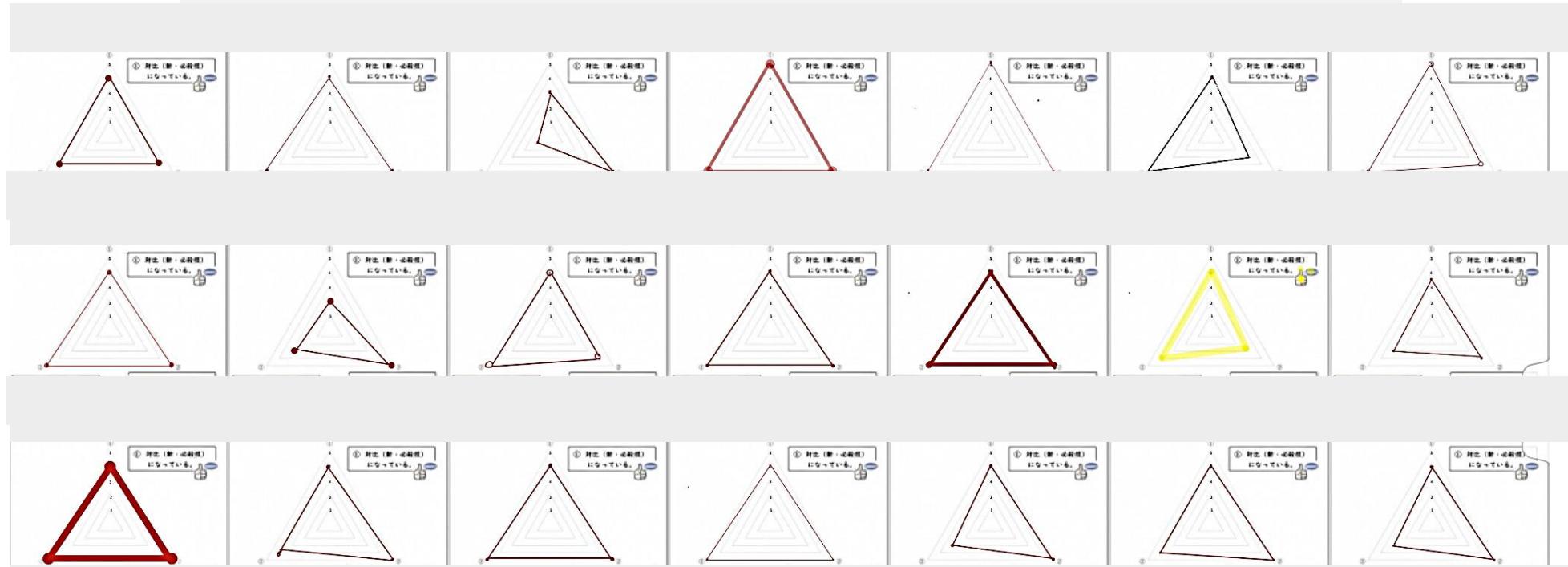


色カードで子ども同士の考え方のちがいを可視化

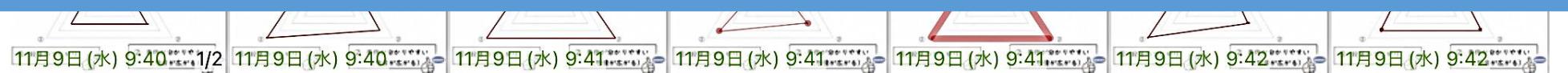
視点2 【共に更新するための工夫】

(1) 考えを表出し、比較する場

例えば… 「調べたことをほうこくしよう」 東京書籍 4年下



レーダーチャートで子ども同士の考え方のちがいを可視化



視点2 【共に更新するための工夫】

(2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実



納得のいく資料や効果的な伝え方へと深っていく？

視点2 【共に更新するための工夫】

(2) 納得解を生み出す根拠や理由づけの充実

その○○って言葉から
何を想像したの？

○○って言葉から、私は～を思い浮かべたんだ。以前…ってことがあって（体験）

でも、写真でも伝えられているかも。この言葉は…。○○ってしてみたら？

根拠や理由づけを充実させることで、納得解が生まれる

視点Ⅰ【学びの自覚】

言葉による
見方・考え方を
働かせる

視点Ⅱ【共に更新】

他教科や生活の中で生かせる未来を拓く言葉の力を獲得し、
自らの生き方を
主体的に更新し続ける子ども